

発行：神楽洞夢

ひな祭りに天体現象を見よう！

もうすぐ「ひな祭り」の日がやってきますが、今年の3月3日はちょうど満月の日です。この日はいつもとは違った満月、「皆既月食」を見ることができます。昨年9月にも皆既月食がありましたが、今回はより観察しやすい時間帯に見ることができます。3月3日の午後6時49分頃から部分月食がはじまり、皆既月食が見られるのは午後8時04分から午後9時03分までの間で、皆既月食のピークは午後8時33分です。

この日を逃すと、次は2029年の1月1日お正月まで見ることができません。ぜひ、今年のひな祭りは天体現象を楽しんでみませんか？



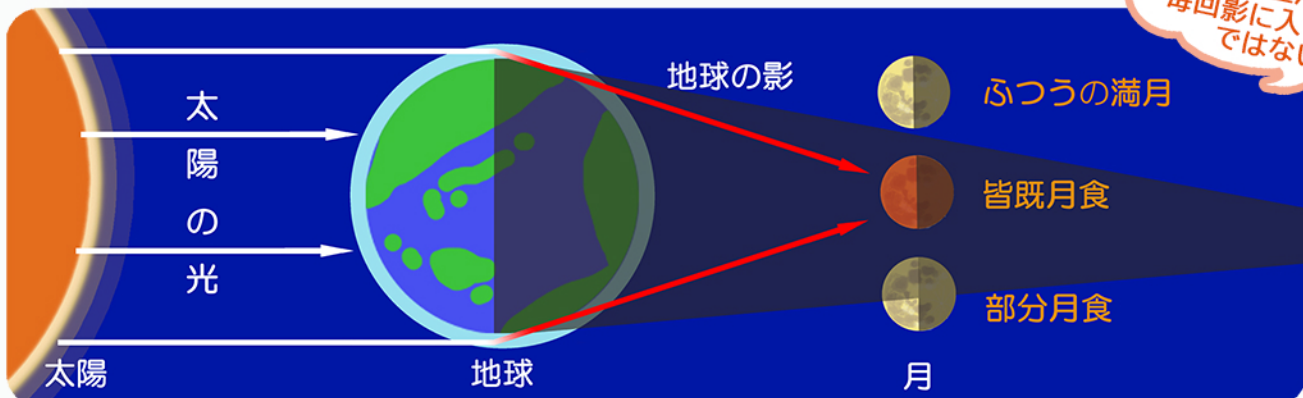
♪ちよこっとコラム♪

昔、日本では月食を「月蝕」と書き、赤く染まる月に、不吉なイメージをもっていました。そのため、月蝕の時は月を見ないようにしたり、お経を唱えたりする風習がありました。

月食ってどんな現象？

月食は、太陽に照らされてできた地球の影に月が隠れる現象で、太陽と地球と月が一直線に並び、満月の時に起こります。月食には、地球の影に月が全部隠れる「皆既月食」と、一部だけ隠れる「部分月食」があり、皆既月食中の月は、真っ暗で全く見えなくなるのではなく、赤黒い色に見えます。これは、太陽の七色の光のうち、地球の大気を通り抜けて残った赤い光が影の内側に入り、月を照らすからです。

一列に並んでも毎回影に入るわけではない



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565